

後期の授業実施方針について

学生・保証人の皆様

前期の授業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、年度当初の計画から授業日程や授業方法を変更して実施してきました。地域の感染状況や国および地方自治体の感染症対策方針を踏まえた上で、4月中旬よりオンライン授業を開始し、感染防止策に全学で取り組みながら、5月18日より短期大学、6月1日より大学において、対面授業をオンライン授業と平行して実施してまいりました。これまでの皆様のご理解とご協力を心より御礼申し上げます。

さて、9月を迎えましたが、未だに新型コロナウイルス感染症は収束しておらず、検査体制の充実やワクチンおよび特効薬の開発が待たれるところです。2月には全く未知のウイルスでしたが、少しずつ研究は進んでいます、十分とはいえません。そうした現状の中、大学としては、秋冬における感染拡大を想定しながら、各学年の学びを止めないために、授業実施方針を検討してまいりました。

その結果、9月23日から開始する後期授業につきましては、講義科目を一律にオンライン授業とする前期の方法を変更し、各学科の特性に鑑み、授業科目ごとに、教育効果を考慮した授業実施方法を決定いたしました。3密の回避や学内での感染防止対策を徹底した上での対面授業に加え、オンライン授業（VOD（動画配信）方式、双方向ライブ方式）、さらに対面授業とオンライン授業の併用等々を柔軟に行い、授業を実施いたします。

各学科の後期の時間割や詳細な授業実施方法につきましては、大学の在校生用ポータルサイト（Moodle）や学科のアドバイザー等を通じて学生にお知らせします。また最新の情報をHP等でご確認くださいようお願いいたします。

なお、今後の感染拡大状況等によっては、方針変更があることも申し添えます。引き続きご理解ご協力のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。

2020年9月8日
山陽学園大学
山陽学園短期大学
学長 齊藤育子